

各位

佐世保重工業株式会社

2023年3月期 第3四半期決算に関するお知らせ

1. 2023年3月期第3四半期決算状況（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）経営成績

（%表示は対前年度同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	8,216	△44.8	△202	—	274	△67.6	446	359.8
2022年3月期第3四半期	14,883	△34.4	696	—	845	—	97	—

（2）事業部門別売上高

（%表示は対前年度同四半期増減率）

	新造船部門		修繕船部門		機械部門		その他		合計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	—	—	5,848	7.1	1,973	18.9	394	△0.5	8,216	△44.8
2022年3月期第3四半期	7,368	△54.7	5,458	44.2	1,659	△22.5	396	△15.2	14,883	△34.4

（注）百万円未満を切り捨てて表示している。

2. 当第3四半期の概況

当連結会計年度は、前連結会計年度に実行した新造船事業の休止、修繕船事業と機械事業への経営資源の集中、連結子会社の統廃合、など当社グループの抜本的事業構造改革後の初の会計年度であります。当第3四半期における連結売上高は、新造船部門の売上高が無くなったことから8,216百万円（前年同期比6,667百万円減）となりましたが、主力事業の修繕船部門において自衛艦の検査工事の大型化に加えて巡視船や一般商船の修繕工事にも積極的に取組み前年同期比で390百万円（7.1%）増加、機械部門においても主力製品であるクランク軸に加えて鍛鋼軸類や舶用主機関用連接棒の拡販に努め前年同期比で314百万円（18.9%）の増加となり、両事業部門合計では前年同期比704百万円（9.9%）の増加となりました。

連結営業利益は、修繕船部門においては将来を見据えて取り組んだ初施工の大型艦船定期検査工事による採算の低下、機械部門においては主要材料である鋼塊価格の高騰、などの影響により202百万円の損失（前年同期は696百万円の黒字）となりましたが、配当金収入の増加などもあって連結経常利益は274百万円（前年同期は845百万円の黒字）の黒字、当期純利益は446百万円の黒字となりました。

前年度に始動した当社の事業再構築計画は順調に進捗し、修繕船事業においては昨年10月に新造船建造用大型ドックから修繕船併用ドックへの改修が完了、直ちに大型撒積貨物船の改造工事に取り組むなど当社の修繕設備能力は飛躍的に向上し、旧新造船事業部から配置転換された技術・技能者の習熟度も着実に上がってまいりました。また、機械事業においても材料調達政策を抜本的に見直すなど収益力の改善に取り組んでおり、昨年5月に公表しました通期業績予想（売上高105億円、営業利益1億円、当期純利益1億円）の必達に向け、グループを挙げて取り組んでおります。

以上

【問い合わせ先】

佐世保重工業株式会社
 経營業務部 川口、藤本、小川
 (0956-25-9111)